

<68> 指揮者のために。ダビデによる。賛歌。歌。

68:1 神は立ち上がりその敵は散り失せる。神を憎む者たちは御前から逃げ去る。

68:2 煙が追い払われるように追い払ってください。ろうが火の前で溶け去るように悪しき者が神の御前から滅び失せますように。

68:3 しかし正しい者たちは小躍りして喜ぶ。神の御前で喜び楽しむ。

68:4 神に向かって歌い御名をほめ歌え。雲に乗って来られる方のために道を備えよ。その御名は【主】。その御前で喜び躍れ。

68:5 みなしごの父やもめのためのさばき人は聖なる住まいにおられる神。

68:6 神は孤独な者を家に住ませ捕らわれ人を歓喜の歌声とともに導き出される。しかし頑迷な者は焦げつく地に住む。

68:7 神よあなたが御民に先立って出て行き荒野を進み行かれたときセラ

68:8 地は揺れ動き天も雨を降らせました。シナイにおられる神の御前で。イスラエルの神である神の御前で。

68:9 神よあなたは豊かな雨を注ぎ疲れたあなたのゆずりの地を堅く立てられました。

68:10 あなたの群れはその地に住みました。神よあなたはいつくしみをもって苦しむ者のために備えをされました。

68:11 主はみことばを与えてくださる。良き知らせを告げる女たちは大きな群れ。

68:12 軍勢の王たちは逃げまた逃げる。家に残った女たちは獲物を分け合う。

68:13 羊の囲いの中に横たわるとしてもあな



たがたは翼が銀でおおわれてきらめく黄金で羽がおおわれた鳩のようだ。

68:14 全能者が王たちをその地で散らされたときツアルモンには雪が降っていた。

68:15 神々しい山バシヤンの山よ。峰を連ねた山バシヤンの山よ。

68:16 峰を連ねた山々よ。なぜおまえたちはねたみ見るのか。神がその住まいとして望まれたあの山を。まことに【主】はとこしえにそこに住まわれる。

68:17 神の戦車は幾千万と数知れず。主はその中におられる。シナイの神は聖所の中に。

68:18 あなたは捕虜を引き連れていと高き所に上り人々に頑迷な者どもにさえ贈り物を与えられた。神であられる【主】がそこに住まわれるために。

主に救いを願っている歌です。主への信頼はどこから来るのでしょうか。それはかつての荒野での主のみわぎを回想するところから来ています。「あなたの群れはその地に住みました。神よ。あなたは、いつくしみをもって苦しむ者のために備えをされました。」というように、主のみわぎを思い起こしているのです。

信仰とは主を信じることです。また信仰の勝利とは主を信じ抜いて、その主から勝利が与えられることです。主を信じぬくために一番力になるのは、このように過去に主によって助けられた経験なのです。

ですから過去の恵に感謝しましょう。感謝を主に表わしましょう。その信頼を心に留めましょう。そしてサタンの惑わしによる不信仰を払拭しましょう。

「主はみことばを与えてくださる。」ということが、歌として心を動かすものなのだと、詩人は理解しています。私たちは主のみことばに対して、それほど感動しているのでしょうか。

「バシヤンの山」は異邦の地ですが、「住まいとして望まれたあの山」すなわちエルサレムをねたむほどに慕うと宣言されています。

このように主は信仰のないところにもみわぎをなさる方なのです。すなわち主の宣教のわざが進むのです。私たちは主を賛美する中で、そのような幻が与えられるようでありたいと思います。愛する人々の救いのためにも、主を賛美しつつ主の幻をいただきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？

